

令和4年度

第4回 学校運営協議会 資料

- 1 委員長挨拶
- 2 令和4年度学校評価 報告
- 3 質疑・応答
- 4 令和5年度学校運営協議会について
- 5 終わりの言葉

令和5年2月10日

横浜市立葛野小学校

保護者アンケート集計結果 及び グラフ

	項目	【A】あてはまる 【B】ややあてはまる 【C】あまりあてはまらない 【D】あてはまらない 【X】分からない
1	お子さんは、学校の授業が分かりやすく楽しいと感じていると思いますか。	34% 46% 17% 2%
2	お子さんは、学校の授業や家庭学習に進んで取り組んでいますか。	31% 50% 14% 5%
3	お子さんは、自分のことも友だちのことも大切にしていると思いますか。	58% 38% 3% 1%
4	お子さんは、自分から進んであいさつをしていますか。	32% 38% 20% 7%
5	お子さんは、規則正しい生活習慣が身についていると思いますか。	35% 49% 14% 2%
6	お子さんは、外遊びや様々な運動に進んで取り組んでいますか。	47% 33% 15% 6%
7	お子さんは、自分の思いを分かりやすく伝えたり、相手の考えを聞いて分かろうとしたりする力が高まったと思いますか。	33% 47% 12% 4% 4%
8	お子さんの学校での様子が、ご家庭によく伝わっていると思いますか。	35% 43% 14% 5%
9	学校は、家庭や地域と連携、協力して教育活動を進めていると思いますか。	35% 43% 14% 1% 7%
10	学校は、子どもたち一人ひとりの実態に合ったきめ細かな指導・支援を行っていると思いますか。	25% 44% 19% 2% 9%
11	お子さんは、安心して楽しく学校生活を送れていると思いますか。	49% 42% 6% 1%
12	学校は、お子さんや保護者にとって相談しやすい体制になっていると思いますか。	35% 44% 10% 3% 8%

考察・次年度の方向性

【学びに向かう姿】 No.1、No.2	No.1は、【A】【B】80%という結果で、昨年度より2%減少しました。保護者は、児童と比べ低い傾向が見られました。No.2は、【A】【B】81%と、8%増加しました。葛野小児童は、昨年度と同様、学校で与えられた課題にはしっかり取り組もうとする反面、自ら課題を見出し主体的に学習することに対してはやや苦手意識がまだあると感じます。主体的に課題を見付け、人とかかわりをつくる学習を意図的・計画的につくることを通して、相手意識を高めて学習を進めたり広げたりできるような学習展開を更に工夫し、学習意欲を持続させる力を育みます。また、家庭学習の習慣を身に付けることも今後重視し、今後も学校と家庭で連携しながら、学習の習慣を身に付けていけるようにしていきます。
【豊かな心】 No.3、No.4	No.3は、【A】【B】96%、No.4は、【A】【B】70%と、昨年度とほぼ同じ値でした。No.3は高い水準を維持できています。子ども一人ひとりが主体的に活動し自己有用感を感じられるような取組や、児童主体でつくり上げて実施した行事等、他者を思いやる心情を育む取組を進めてきた成果が持続できていると考えます。挨拶については、【C】【D】27%と、昨年度と同様、他項目と比べ、できていないと感じる方が多い結果でした。保護者の方々から「登校班での集合場所ではなかなか挨拶が返ってこない」等の声をお聞きます。日常的な学校全体・学級指導を更に推進し、学校だけでなく、地域や家庭でも挨拶を進んで行う態度を高める必要があります。ご家庭でもご協力をお願いいたします。
【健やかな体】 No.5、No.6	No.5は、【A】【B】84%で、昨年度より7%増加しました。No.6は、【A】【B】80%と昨年度より3%増加しました。ご家庭での規則正しい生活習慣のご協力とともに、制限緩和により、外で体を動かす機会が昨年より増えてきたと考えます。学校全体としても、外遊びの推進や「葛野チャレンジ縄跳び」などの取組で体力維持やアップができるようにしています。また、手洗いや換気など、コロナ感染拡大防止に向けて学校衛生マニュアルを基に学校環境を整えるとともに、マスクの取り外しについても、自らが考えて実行する意識を高めています。これからも子どもたちが自分の心身の健康を保ち、増進しようとする態度を育むとともに、「ルールやマナーを守って遊ぶ」など、規範意識を高め、安全に遊ぶ指導も定期的に行っていきます。
【コミュニケーション力】 No.7	【A】【B】合計で80%と、昨年度より1%減少しましたが、【A】については9%増加しました。制限のある状況の中、学校では、話し合いや発表の形式、自分の考えを伝えたり相手の思いを聞いたりする機会を工夫してつくってきました。また、ペア学年での手紙やメッセージなどの交流を通して、思いを相手に伝える場を意図的に設定してきました。各教科での言語活動の更なる充実や語彙力の向上、総合的な学習の時間を始めとする学習の取組について、人とかかわりを取り入れながら、「他の人にも伝えたい」と思う気持ちを高めることができる工夫等、コミュニケーション力を高めるための手立てを考えて学習活動を改善・工夫していきます。
【保護者・地域連携】 No.8、No.9	No.8は【A】【B】76%で、昨年度より3%増加しました。「プリントでは分かりにくいことが多々ある」などのご意見もいただきました。分かりやすいお知らせを作成するとともに、保護者から気軽に問合せができる雰囲気づくりをしていきます。また、子どもが「家の人に伝えたい」と思えるような活動を今後も工夫していきます。ご家庭でも、学校の様子についてお子さんと話す機会をぜひ設けてください。No.9は、【A】【B】78%で、昨年度より4%減少したものの、【A】については8%増加しました。担任が家庭と連絡を密にとり、連携ができていとの声も多くいただいています。今年度より設置した地域学校協働本部を生かしながら、より保護者や地域の方々との連携を図るよう努めていきます。
【個に応じた教育】 No.10	【A】【B】69%で、昨年度より7%減少しました。学校では、特別支援教室での学習、学習が分からない児童への個別の支援や手立てを講じる工夫、児童支援専任を中心として、担任だけでなく、学年や学校が一体となり、組織的に動いて困り感のある子への対応等を行っています。自由記述のアンケートでは、「学校に来ない子にも学びの環境を整えてほしい」というご意見をいただきました。相談室の活用などを進めていますが、他校も参考にしながら、全ての子どもが学校での居場所がつかれるよう努めています。また、学習面や生活面で困り感を抱えている子どもに寄り添い、更に保護者の方と連絡をとり合い、連携しながらきめ細かな指導・支援を行えるようにしていきます。
【楽しい学校・相談体制】 No.11、No.12	No.11は、【A】【B】で91%と、昨年度より3%減少したものの、高い水準を維持しています。「子どもが学校は楽しいと言っている」「先生がすぐに対応してくれる」等の言葉も多く寄せられました。定期的な学校生活アンケートの実施等によるいじめや困り感の早期発見・対応の取組、学校全体での組織的な対応、保護者の方々との連携などが、子どもたちの安心感につながっていると考えます。No.12は【A】【B】が79%で、昨年度より5%減少しています。「子どもファースト」「子どもの笑顔が最優先」を合言葉に、教職員全員で学校運営を進めています。スクールカウンセラーや児童支援専任等による教育相談体制の更なる充実を図るとともに、子どもたちや保護者の方々にとって、より相談しやすい学校づくりに努めます。

児童アンケート集計結果 及び グラフ

項目	【A】あてはまる 【C】あまりあてはまらない	【B】ややあてはまる 【D】あてはまらない
1 学校の授業は、分かりやすく楽しいですか。	69	25 5 1
2 学校の授業や家庭学習に、自分から進んで取り組んでいますか。	49	37 11 2
3 自分のことも友だちのことも大切にしていますか。	75	20 5 1
4 先生方や地域の方々に、自分から進んであいさつしていますか。	48	35 12 4
5 「早寝、早起き、朝ごはん」を守って、規則正しく生活していますか。	45	33 17 5
6 外遊びやいろいろな運動に進んで取り組んでいますか。	62	23 8 7
7 自分の思いを分かりやすく伝えたり、相手の考えを聞いて分かるようにしたりする力が高まったと思いますか。	42	40 14 3
8 学校であったことを、お家の人によく話していますか。	66	21 9 4
9 安心して楽しく学校生活を送れていますか。	68	24 4 4
10 困ったことがあったときに、先生たちに話したり相談したりしていますか。	49	30 14 7

考察・次年度への方向性

【学びに向かう姿】 No.1、No.2	<p>No.1の【A】【B】の合計94%は、昨年度より2%、【A】については、6%と、近年増加傾向が見られます。多くの子どもたちが、概ね学習内容を理解していると感じ、楽しく学習を進めています。しかし、「学習内容がよく分からない」と感じている児童もいます。学習に困り感をもっている児童に対してそれぞれに合った支援を続けたり、習熟に合わせた学習課題や取り組み方を更に工夫したりしていくなど、どの子にも分かる楽しさが味わえるよう、これからも努めていきます。</p> <p>No.2の【A】【B】の合計は86%で、昨年度より2%増加しています。学校では、身近にある事柄や興味をもてるような問題場面を設定し、「問題を解決したい」と思えるような学習課題を自らもてるように進めている結果だと考えます。また、生活や総合的な学習の時間では、相手意識をもち、人と関わり合いながら学習を進めています。【C】【D】の児童を【A】【B】に引き上げることができるよう、家庭と連携しながら子どもの努力を認め、励ましていく必要があります。</p>
【豊かな心】 No.3、No.4	<p>No.3の【A】【B】の合計は95%と、昨年度と同様、高い水準を維持しています。宿泊学習や運動会、音楽祭などの行事を始め、学習や学校生活において、今できる最大限のことを子どもたちと共につくり上げてきた結果ととらえることができます。また、ペア学年の交流の仕方を工夫し、他学年とふれ合う機会をつくってきました。コロナ感染予防に最大限努めながら、これからも更に自他を大切に作る心の育成に努めていきます。</p> <p>No.4の【A】【B】の合計は83%と、昨年度と比べ2%減少しているものの、学校の先生や来校者、校外学習で関わる方々には進んで挨拶でき、お褒めの言葉を多数いただいています。ただ、登校班を始め、学校外になると進んで挨拶できていない現状が見られ、保護者のアンケート結果との差があります。学校だけでなく、生活の様々な場面で自分から進んで挨拶できるように、常時挨拶についての大切さを家庭と連携しながら指導・実践していきます。</p>
【健やかな体】 No.5、No.6	<p>No.5の【A】【B】の合計は78%と、昨年度と比べ3%減少しています。学校での生活習慣・保健指導を充実させるとともに普段の生活はもちろん、長期休業中も「生活カレンダー」などの取組を行うことで、規則正しい生活をする習慣をつけられるようにしていきます。ご家庭でも引き続きご協力をお願いします。</p> <p>No.6の【A】【B】の合計は昨年度より2%増加しています。休み時間になると、校庭では多くの子が体を動かして遊んでいます。また、校庭遊びの集会を計画して実施しているクラスも多くあります。さらに、毎年実施している「チャレンジ縄跳び」「長縄集会」に向けて、短縄跳びや長縄跳びの練習をしている児童も多く見られました。これからも、外遊びを誘い合う仲間・学級づくりや、年間を通して定期的に外で体を動かす機会を、学校・学年・学級単位などで増やしていきます。</p>
【コミュニケーション力】 No.7	<p>No.7の【A】【B】は82%で、昨年度より1%減少しています。学校では、話し合いや発表の形式、自分の考えを伝えたり相手の思いを聞いたりする機会を工夫してつくってきました。人前で話したり発表したりする学習が苦手な子がいることを想定し、話し合いを提示して考えの表出をしやすいなどしながら各学年に応じて工夫して取り入れています。また、学校生活において、自分の思いを相手にうまく伝えることができない児童については、教師が間に入り、児童の気持ちを汲み取って相手に伝えるなどの支援をしています。各教科での言語活動の更なる充実や語彙力の向上、総合的な学習の時間を始めとする学習の取組について「他の人にも伝えたい」と思う気持ちを高めることができる工夫等、コミュニケーション力を高めるための手立てを考えて学習活動を改善・工夫していきます。</p>
【家庭との情報共有・楽しい学校・相談体制】 No.8、No.9、No.10	<p>No.8の【A】【B】の合計は87%で、昨年度より4%、【A】については23%の増加と、学校であったことを家の人に話していると感じている児童増えています。No.9の【A】【B】の合計は92%で、昨年度より4%、【A】については、23%増加しています。学校生活が楽しいと、「家の人に話したい」と感じるのではと思います。子どもたちが主体的に学習や学校生活をつくっていくことを大切にしながら教育活動を進めてきた成果が表れてきていると考えます。学校からは、学校・学年だよりの発行やホームページの活用などを通して、ご家庭へ学校生活の様子が伝わるよう努めていきます。</p> <p>逆にNo.10の【A】【B】合計は79%で、4%減少しています。普段の学校生活やアンケートからとらえた悩みや問題について教師と話し合い、解決に向けた支援をするとともに、困り感をもつ児童が安心して気軽に相談できる雰囲気づくりと、支援体制を学校全体でつくっていきます。</p>

保護者アンケート記述より *個人を特定できない範囲で、一部記述を活用させていただきました。

- 学校で遊べたり、先生とも話やすく、また、気になることを聞いてくださるので、とてもコミュニケーションが取りやすいと感じています。
- 担任の先生をはじめ、先生方にはいつもあたたかく見守っていただき、ありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願い致します。
- コロナ禍ではありますが、音楽祭などの行事を開催していただけて嬉しいです。子供も楽しく活動しています
- 普段から子どもの方から学校での様子を話してくれることが多く、何かあれば担任の先生からご連絡をいただけるため、子も親も安心して登校し送り出すことができます。
- 教科ごとに先生がかわっていることがすごく楽しいようです。家での学習の取り組みも積極的になりました。各先生の話の家でも楽しそうに話してくれます。
- ▲ 朝の登校班の見守り時、子供達におはようと言っても返事が返ってくるのがほぼないのでさみしい。地域の方達に優しく見守っていただくためにも挨拶はしっかりとるように、学校からも教えてあげてほしいです。
- ▲ 大人の目が行き届かない登下校時の交通ルールの確認を何度でもして頂きたいです。班長さんだけでなく皆が安全への意識を高めてほしい。
- ▲ 朝8：05にならないと門が開かないが門前に沢山の生徒が密集していて不審者がいたら沢山の生徒が犠牲になる。臨機応変に門を開けたらいい。
- ▲ 黙食をなくして楽しい給食の時間を取り戻してほしい。
- ▲ 口座振替依頼は、事前に準備はできなかったのでしょうか。日数がなく、元々の予定を変更しました。また、アンケートの件も確認不足だと思います。事前準備、確認をきちんとしていただきたいです。

学校より回答

葛野小のスローガンにも「元気なあいさつ」とあります。11月には、運営委員会が中心となり、挨拶運動を実施し、各学級単位でも日頃から挨拶を意識する取組を行いました。また、大人が率先して挨拶をすることで、元気に挨拶をする子どもが多くいます。校内の姿が学校外での挨拶につながるよう、これからも日常的に意識を高めていきます。また、ご家庭と連携していくことが大切だと思います。挨拶についてご支援ご協力をお願いします。

登下校を含めた交通安全については、朝会や各学級での指導、交通安全教室や登校班指導などで意識の向上に努めています。しかし、特に下校時や放課後での遊びの帰りなどで危ない場面が見られます。これからも定期的に全校児童へ指導を続けていきます。今後も、お気づきの点がありましたら、学校へご連絡ください。

登校時の開門は、基本的には8：05となっていますが、込み具合によって、少し早めに開けるようにしています。これからも、児童の安全を第一に考え、状況に応じた対応を検討していきたいと思えます。

「楽しい会食」は、学校給食の一つのめあてになっています。給食の黙食につきましては、今後の感染状況を見ながら、学校として対応していきます。

口座振替依頼やアンケートの再発出など、ご迷惑をおかけしてしまい申し訳ございませんでした。学校で発出する文書等につきましては、管理職含めチェックをしているところではありますが、更に確認の強化を図り、間違いがないよう努めていきます。

学校運営協議会より

共通取組 重点取組	令和4年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 生きては たらく知	①学年単位で授業を見あう機会を設け、教師の授業力向上を目指す。 ②GIGA端末を活用した学年ごとのカリキュラムを明確にし、定着を図る。 ③年間を通して研修や研究の場を設け、子どもたちが主体的に課題を解決できるよう教員のかかわり方を高める。	①メンター研や研修会、発表の事前授業などで授業を見あう機会をそれぞれ設け、教師の授業力向上に務めた。 ②ICT支援員を活用し、ICT機器の活用能力を多感ることができた。 ③「指導と評価の一体化」の研修などを通して、子どもたちが主体的に課題解決していけるよう授業改善を図った。	B
2 豊かな 心	①道徳科・学校行事を中心としたすべての教育活動を通して、豊かな情操を養い、共感・共生する感性の育成を図る。 ②他者とのかかわりの中で、自分の内面と向き合い、自他の違いを受け止めながらコミュニケーションを図ることができる力を育てる。	①②行事を始めとした教育活動の中に意識的に認め合う場を設定したことにより、自己実現することによる達成感、集団活動を通して得る共感共生のよさを実感させることができた。人権教育実践推進校としての取組により人権感覚の豊かな教職員・児童の育成を図り、道徳教育と関連つけた指導に生かした。	B
3 健やかな 体	①学習教材や学習形態の工夫などを通して、自ら課題を把握して問題解決する力の向上や互いに技能を高め合おうとする態度の育成を図る。 ②委員会活動を中心として取組を発信し、全校で実践することで、子どもの主体性・積極性を高めながら健康推進や体力向上を図る。	①子ども自身が視覚的に課題把握や問題解決ができるように、ict機器や掲示物、学習カードなどを工夫し、互いに伝え合い高め合える場を設けた。 ②いきいきキッズや長縄集会など、子どもの主体性・積極性を高めながら健康推進や体力向上を図るよう努めた。	B
4 公共心と 社会参画	①ペア学年を軸とした異学年交流や委員会などの児童会活動を通して、自分らしさを発揮し、他者とのふれあいを深めながら行動しようとする力を育てる。 ②地域の行事や取組に参加する機会を増やし、地域に主体的にかかわり、自分にできることを発揮しようとする態度の育成を図る。	①代表委員会や各委員会発信での活動ができ、ペア学年での交流がこれまでよりもたくさん設けられた。 ②行事としては限られているところが多かったので、今後は状況を見て行事に参加したり、社会・総合・生活などでも主体的にかかわる機会を設けていきたい。	B
5 未来を開 く志	①地域との関わりを深め、葛野のまちを愛する態度を育てる。また、学習の過程や学習したことを身近な人に発信する。 ②他者との関わりの中で、自分の内面と向き合い、自他の違いを受け止めながらコミュニケーションを図ることができる力を育てる。	①地域の人材を活用し、人とのかかわりを大切に学習を進めてきた。子どもが相手意識をもてるようにし、他者に発信する学習計画を立てて実践することができた。 ②経験の少なさが全体としてまだ課題ではあるが、自他の違いを受け止めながらコミュニケーションを図る力は高まってきていると考える。	B
6 いじめへ の対応	①y-pを活用し、子どもたちの困り感を見取っていじめの未然防止に努める。 ②実効性のある児童アンケートを実施し、いじめの早期発見・適切な初期対応を図る。 ③学年間の情報交換を密にし、児童支援専任と協働して気になる児童へ組織的に対応する。	①子どもたちの困り感を見取っていじめの未然防止に努めたが、Y-pの活用についてもっと積極的に発信する必要がある。 ②児童アンケートから困り感を把握し、いじめの早期発見や適切な初期対応を組織的に図った。③学年研等で児童理解を深め、専任と協働して児童へ対応することができた。	A
7 働き方改 革	①各校務分掌で作成した資料が、次年度以降もスムーズに引き継げるようなデータ管理の見直しを図る。②企画会で検討する内容、打合せで提案する内容を分類し、次年度も引き継げるシステムを構築する。	①学校パソコンのミライムや共有フォルダ、ロイロノートなどを活用し、情報の共有化と引継ぎのデータ管理の見直しを進めた。 ②各推進部会で共有を図り、企画会で検討する内容と打合せで周知する内容を推進部会長を中心に検討して提案を進めてきた。	A
8 人材 育成・ 組織 運営	①メンターの授業研究に全職員で携わりながら職員の授業力向上を目指す。 ②庶務事務システムを活用しながら、勤務状況や業務負担を見える化して把握する。	①学力向上部でメンターの授業研究に全職員が均等に関わることができるよう役割を分担し、教員一人ひとりの授業力向上に努めた。 ②庶務事務システムを活用しての業務負担や見える化までには至ってないが、管理職や事務職が積極的に助言することで勤務状況の意識向上に努めた。	B